

三原市大和町にハウレンソウ第3農場 アグリシードファンドが出資へ

茨木牧場・グリーンカウベル

茨木牧場(三原市大和町)は、ハウレンソウ栽培の第3農場を開設する。面積は約2.2ヘクタールで、22棟計60坪のハウスリースを予定。同農場を運営する(株)グリーンカウベル(同所、茨木栄治社長)は、農林中金や日本公庫などが株主のアグリビジネス投資育成(株)

の「アグリシードファンド」の出資を受け、事業拡大を図る。府中市上下、神石高原町、世羅町、三次市内などでも農場開設を見込み、10年間で、既存を含め県内10農場、研修受け入れによる農場のフランチャイズ展開も計画している。

茨木牧場は1981年創業。乳牛20頭を飼育。子息の栄治社長がハウレンソウ栽培を始め、本社農場Ⅱ写真Ⅱは32棟計1.2ヘクタール。17年に敷地2246平方メートル、延べ床約200平方メートルの選果場を新築。18年2月に農産物国際認証規格グローバルGAPを取得した。イオン、イズミ、生協、ヨシケイ、デリカウイングなど向けに年80ト規模を生産している。14年に研修先だった(有)ドリムファーム(庄原市)を継承し、第2農場「ティンカウベル東城」として、ハウレンソウ(12棟計20坪、年10ト規模)、夏秋イチゴのす



ずあかね(高設養液栽培6列×7棟計30坪)を栽培。イチゴは3月中下旬に定植して6〜12月半

ばに収穫し、山崎製パン岡山工場、広島、神戸、大阪の洋菓子店など向けに年間約8ト出荷している。大和の第3農場は、ハウレンソウを重点品目としている三原市が造成を予定。露地でハウレンソウ、キャベツを栽培し、今冬からハウスを設置し、来春に栽培を始める。グリーンカウベルは18年1月設立で、資本金445万円、5月にファンドから985万円の出資を受ける予定。

三原市のブドウ園購入、今秋収穫へ 水耕栽培も広げ、就農を後押し

KGGホールディングス傘下の木下ファーム

建築工事業の木下組などのKGGホールディングス(佐伯区五日市町石内、田中敏彦社長)グループの木下ファームは、ハウスや香草類を主力とした水耕栽培事業「キノシタベジタブル」Ⅱ写真Ⅱを広げるとともに、三原市大和町でブドウ園の運営に乗り出す。耕作放棄地や休耕地、事業の譲渡を受けた展開で、地域の就農と農作物の生産を強化、活性化させる。

水耕栽培は肥料を含む養液を用い、安定的な収穫量や品質を確保できるNFT式水耕法を採用。2016年に、佐伯区五日市町石内地区の農地930平方メートルにビニールハウスを設置し、イタリア・トスカーナ特産の黒キャベツを皮切りに栽培を始めた。続いて、同地区の別の休耕地約2100平方メートルに、ハウス4棟を増設。ハウス類に特化することで安定的に供給する。現在は、パクチーやバジルを主力に、ルッコラ、ホワイトセロリ、クレソン、フリルレタスなど9品目を広島市中央卸売市場内・外を通じて量販店やレストラン、ホテル、飲食店などへ卸す。一部、西区

安心と便利をお約束!!

ご自身内での家族葬から500人を越える社葬まで、あらゆるご要望にお応えします

串戸 廿日市、佐伯方面はおまかせ!

広島中区 広島を中心、中区・田中町

廿日市葬祭会館

広島中央斎場

廿日市串戸1丁目7-20 TEL0829-32-3343

広島市中区田中町2-5 TEL082-546-1616

300人収容 200人収容 葬式場 駐車場 310台

500人収容 300人収容 200人収容 150人収容 葬式場 駐車場 230台

24時間・年中無休 広島せしも二 738-0033 廿日市串戸1丁目7-20 TEL.0829-32-3343 FAX.0829-32-3348 株式会社 http://www.h-ceremony.jp/ E-mail:gishiki@h-ceremony.jp



の商業施設レクトへ不定期で直販。少量多品種に対する市場のニーズは高く、作付面積を増やしていく。ブドウ園は、三原市大和町の向用倉農業公園内でNPO法人が運営していた。1月に事業譲受の契約を結び現在、委託で作付面積約1.5ヘクタールに安芸クイーンやピオーネ、シャインマスカットなど8品目を育てている。今秋シーズンで約1トの収穫量を予想し、年間売り上げは1500万円を見込んでいる。観光農園を継承しつつ、販路拡大を図る。

NFT式水耕法を導入して耕作放棄地や休耕地を活用する方針で、若年層、U・Iターン、の就農を促すなどの相乗的な効果も期待している。